

提 言 書

平成 26 年 3 月 15 日

鳥取市若者会議

鳥取市若者会議 第4期

会 長	田中 裕太		
副会長	垣屋 克吉	唐溪 悦子	
メンバー	浅井 崇典	石丸 浩高	岡村 優隆
	川守田 英明	塚田 曜	善行 佑介
	竹竝 奈々江	田中 里志	谷 祐基
	塚田 志保子	中村 洋彰	中村 蘭
	松尾 慶輔	村田 浩一	柳原 康之
	余川 聖		

全体会議開催経過

平成24年	6月30日	第1回全体会
平成24年	7月13日	第2回全体会
平成25年	3月30日	中間報告会（任期1年目）
平成26年	1月25日	若者議会
平成26年	3月15日	成果発表会（任期2年目）

若者会議（Aグループ）

■メンバー名簿 ◎グループリーダー ○サブリーダー

◎中村 洋彰

○田中 裕太

浅井 崇典 埴田 曜 中村 蘭 松尾 慶輔

■活動テーマ

観光資源の再発見とその活用について

■会議等開催実績

○グループ会議等

★ 平成24年度

6月30日、 7月13日、 8月20日、 8月23日、 9月26日、
10月 9日、10月29日、11月12日、12月 4日、12月20日、
12月26日、 1月15日、 2月13日、 3月 1日、 3月30日

★ 平成25年度

5月13日、 6月10日、 6月20日、 8月 5日、 8月20日、
9月26日、11月 6日

○視察、イベント等

平成24年	9月	30日	鳥の劇場視察
	10月	27日	第2回鳥取砂丘 ALLSTARZ 駅伝
	11月	18日	芸術の秋視察
平成25年	2月	9日	青谷地域視察
	3月	9日	河原・佐治地域視察
	3月	16日	鹿野地域視察
	3月	20日	サンドボード体験
	3月	24日	霊石山パラグライダー体験
	5月	6日	国府地域視察
	5月	12日	浦富海岸・砂の美術館視察
	9月	7～8日	佐治町におけるモニターツアーの企画・開催

■提言内容（詳細別添）

- ①大学生向けツアーの実施
- ②県外都市圏における若者会議関連団体の創設
- ③鳥取砂丘オリンピックの開催
- ④主要観光施設に対する助成措置の実施

鳥取市への提言書

テーマ 1

「若者に対する鳥取市の魅力発信について」

■提言に至った経緯

鳥取市では、15歳から39歳までの若年世代の人口が約1,000人/年のペースで減少している。このまま若者人口が減少していくと、産業の担い手不足や地域コミュニティの崩壊など、地域の衰退へ繋がってしまう恐れがある。鳥取市に住みたいと思ってもらうためには鳥取ならではの魅力を若い世代へ積極的に伝えていくことが必要である。一方、公益社団法人日本観光振興協会の調査（平成23年度版 観光の実態と志向）によると、希望する旅行の種類として、温泉観光やリゾートライフを楽しむ観光などグリーンツーリズムに関するものが上位に挙がっており、自然環境が豊かである鳥取市の魅力をアピールするには観光産業が非常に有効であると考えられる。

そこで、Aグループでは、鳥取市内にある自然環境を生かし、将来の担い手である若者に鳥取の魅力を肌で感じてもらうため、大学生を対象にモニターツアーを実施した。

■提言内容

①大学生向けツアーの実施

鳥取は自然環境が豊富であり、自動車さえあれば気軽に楽しむことができる。しかし、マイカーを持っていない方はアクセス面での影響もあり、なかなか足を運ぶ機会がない。そこで、大学生を対象としたツアーを実施することで、鳥取の魅力である自然環境に触れる機会を提供し、若者定住の促進を図る。

②県外都市圏における若者会議関連団体の創設

鳥取市の人口減少を食い止めるには、外部への流出を抑えるだけでなく、外から若者を呼び込む必要がある。そのため、県外に住む鳥取市出身の若者を取りまとめ、鳥取市とのつながりを強めるための団体を創設すべきである。

テーマ 2

「主要観光施設の魅力アップについて」

■提言に至った経緯

鳥取市を訪れる外国人観光客は、観光庁の宿泊旅行統計調査によると、平成 24 年の外国人延べ宿泊者数が 3,302 人、平成 25 年は 9 月までで 3,099 人となっており、前年同期比で 438 人、16%の増加となっている。また、県内において「米子-ソウル便」や「環日本海圏貨客船」の就航により、海外からの観光客が訪れやすい環境が整いつつある。

その一方で、近年、鳥取市宿泊施設の宿泊客数は右肩下がりであり、より経済効果を促すためには、観光客の滞在時間を増やすよう観光施設の魅力アップやイベント等を設ける必要である。

■提言内容

③鳥取砂丘オリンピックの開催

東京五輪の招致成功やマラソンブームなど、スポーツ愛好家が増えていると考えられる。そこで、世界的なスポーツの最高峰であるオリンピックを振り、鳥取市の主要観光地である鳥取砂丘を生かしたスポーツのイベントを開催することにより、日本人だけでなく、外国人の興味を引くことが期待でき、さらに、滞在時間の延長や運動による疲労から鳥取市内に宿泊する観光客の増加が見込まれる。

④主要観光施設に対する助成措置の実施

外国人観光客の増加を今後とも持続していくためには、主要観光地の利便性を向上させる必要があり、その手法として、多言語案内掲示板や、免税店の設置、通訳案内士やボランティアガイドの配置などによる外国人へのおもてなしを実施していくべきであるとする。

平成26年3月15日
鳥取市若者会議成果発表会



観光資源の再発見 とその活用

鳥取市若者会議Aグループ



1

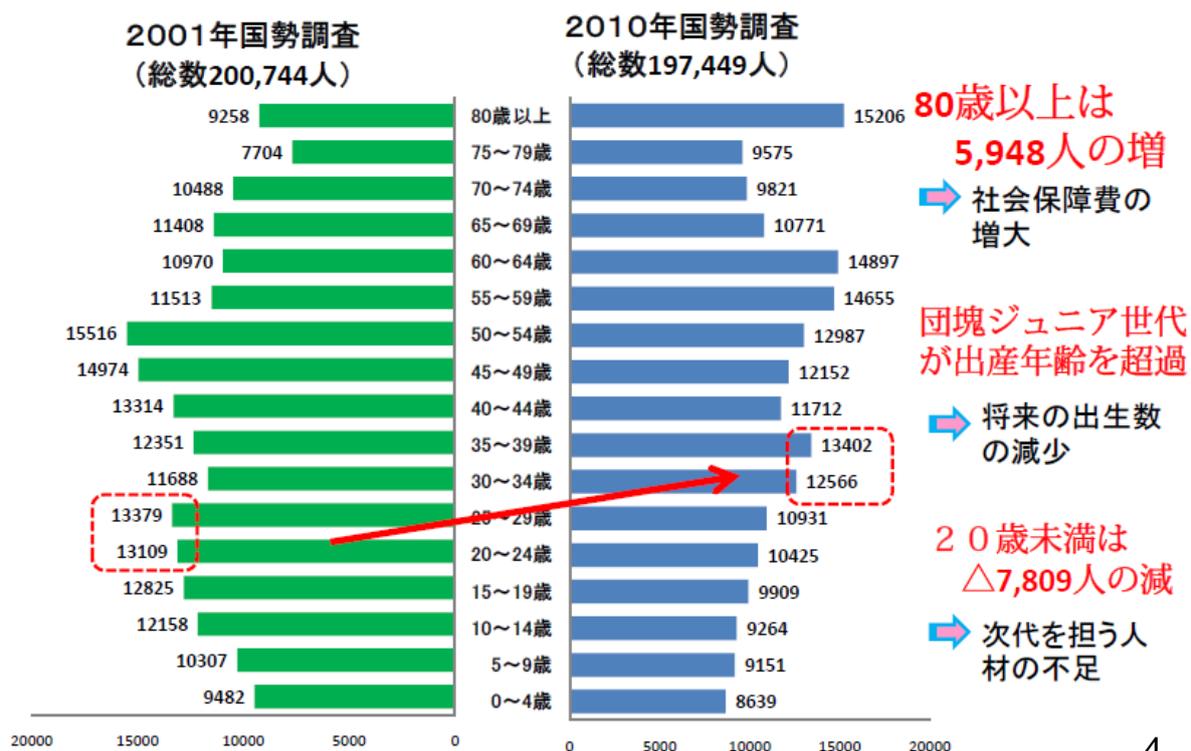
○報告の流れ

- 1 テーマ決定までの経緯
- 2 活動内容
- 3 Aグループの提言

2

1 テーマ決定までの経緯

鳥取市の人口推移



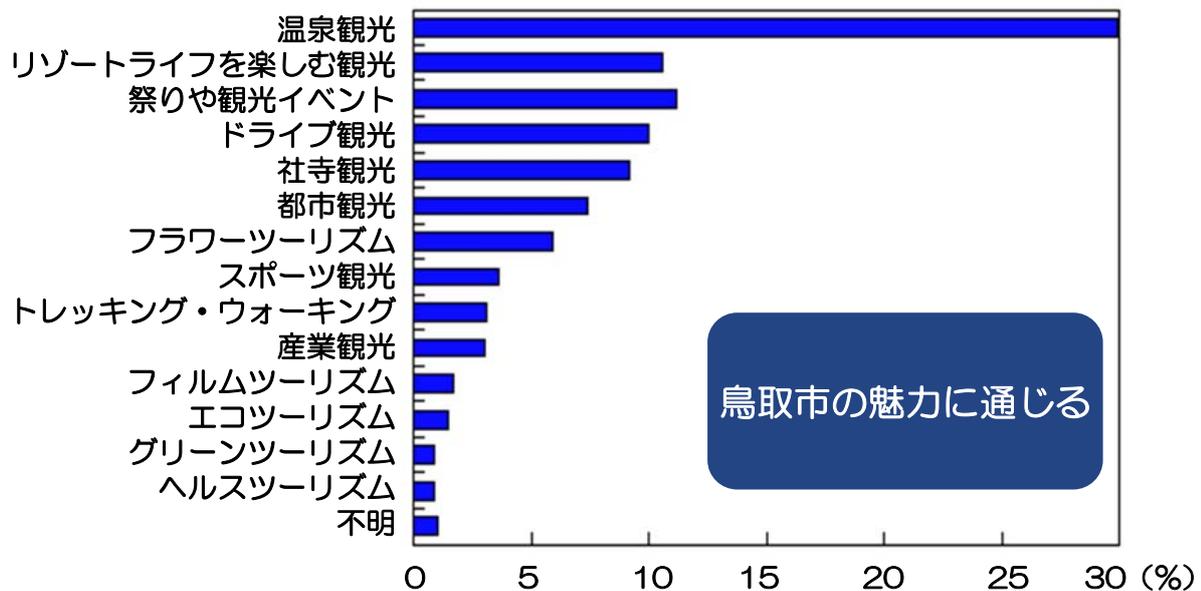
鳥取市の魅力

- 鳥取砂丘や周辺の温泉施設。
- のんびりと散策出来る町。
- きれいな風景。自然（砂丘、川、海）
- 地域の特産品が豊富であること。
- 空気、水、山、海がきれいで、自然に恵まれている。
- 食べ物がおいしい。

国土交通省中国地方整備局HP「まちの魅力度調査」より抜粋

5

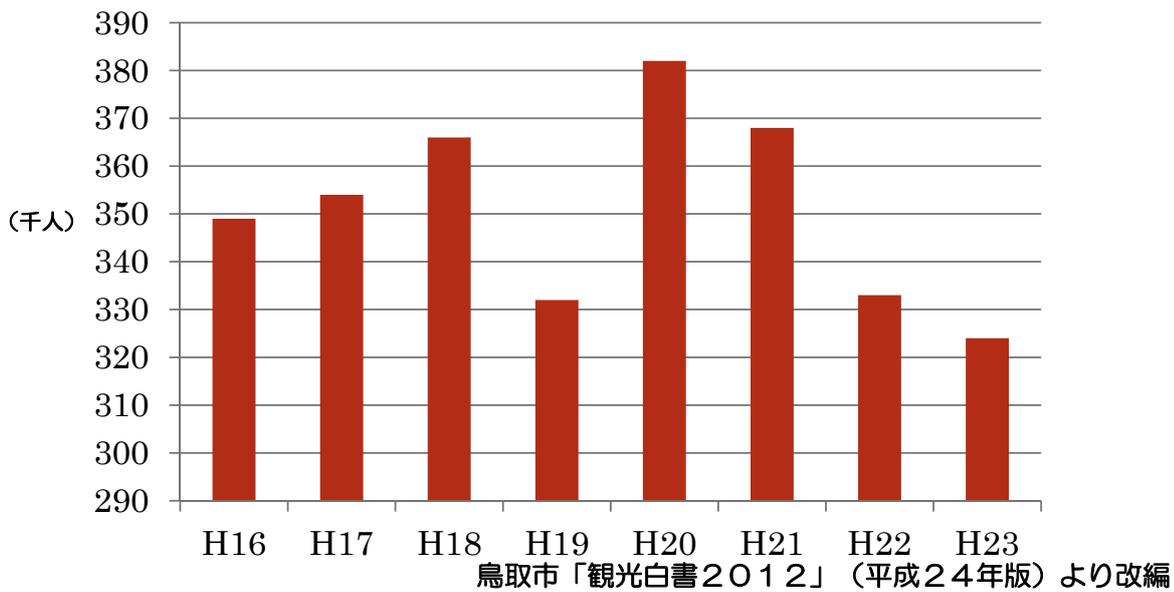
希望する旅行の種類



日本観光協会「観光の実態と志向」（平成23年版）より改編

6

鳥取市宿泊施設の宿泊客数



優れた観光地があるが
宿泊は別の都市

宿泊してもらうための
手法を考察

7

結論

[テーマ]

観光資源の再発見とその活用

[内 容]

鳥取市にある観光資源を活かしたツ
アープランの作成。

[目 的]

若者への魅力アピール

市内で宿泊する観光客の増加

8

2 活動内容

Aグループが実施した活動内容

- 鳥取市内にある観光資源の調査
 - 鳥取砂丘から中心市街地へ視察
 - 担当制による旧8町村の視察
 - 自然を生かしたスポーツの体験

- モニターツアーの実施

鳥取市内にある観光資源の調査

- 旧町村の視察
 - ・ 青谷町（2013年2月9日）
 - ・ 河原町（2013年3月9日）
 - ・ 佐治町（2013年3月9日、10日）
 - ・ 鹿野町（2013年3月16日）
 - ・ 国府町（2013年5月6日）
- 浦富海岸～砂の美術館（2013年5月12日）

鳥取市内にある観光資源の調査

- 鳥の劇場視察（2012年9月30日）
- 芸術の秋視察（2012年10月26日）
- 第2回鳥取砂丘ALLSTARZ駅伝（2012年10月27日）
- サンドボード体験（2013年3月20日）
- 霊石山パラグライダー体験（2013年3月24日）

視察の様子（青谷町）



13

視察の様子（鹿野町）



14

視察の様子（河原町）



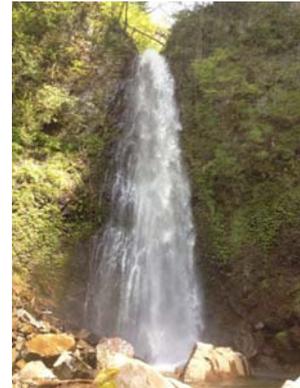
15

視察の様子（佐治町）



16

視察の様子（国府町）



17

視察の様子（浦富海岸・砂の美術館）



18

視察の様子（芸術の秋視察）



19

視察の様子（鳥の劇場）



20

サンドボード体験（鳥取砂丘）



21

霊石山パラグライダー体験（河原町）



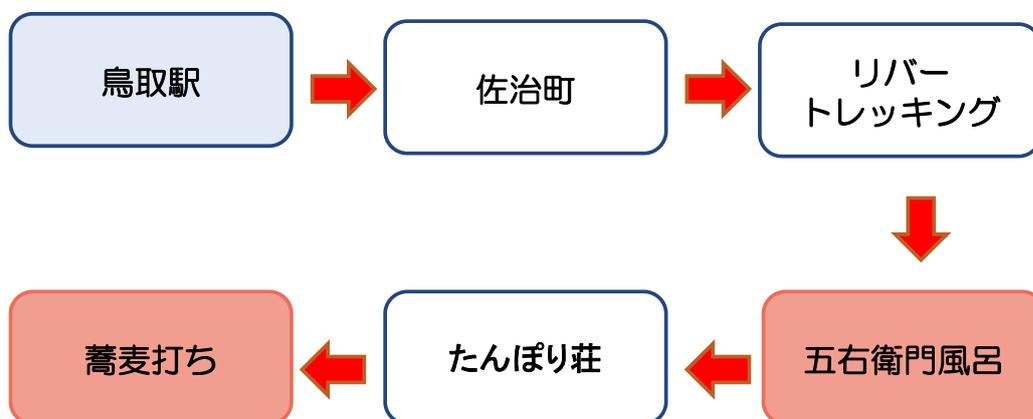
22

モニターツアーの実施

- 日 時: 2013年9月7日(土)~8日(日)
- 場 所: 佐治町
- 参加者: 合計5名(うちAグループ2名)
- 目 的: 作成したツアープランを体験していただき、意見や感想を伺う。

23

モニターツアーの内容（一泊二日）



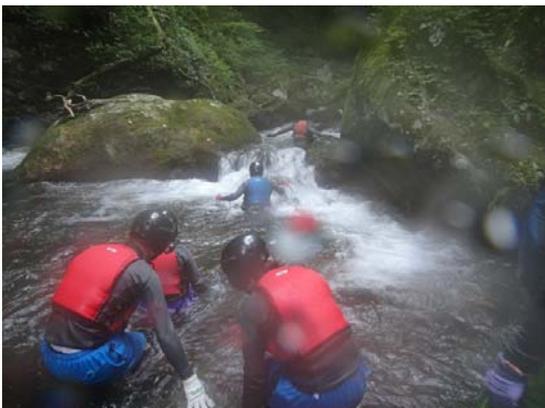
24

～1日目～



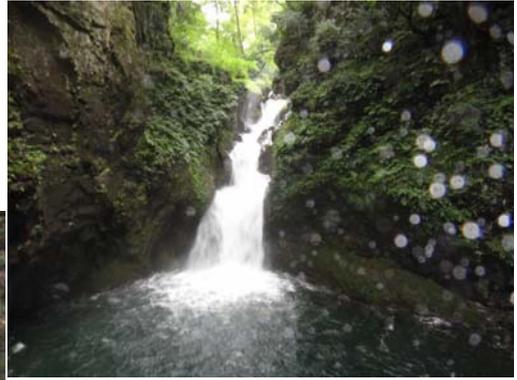
25

～リバートレッキング～



26

～リバートレッキング～



ウエットスーツと
ライフジャケット
に身を包み、
滝つぼにダイブ!

27

～五右衛門風呂～



28

～五右衛門風呂～



佐治川ほとりにて
佐治川の水を汲み、ぽかぽかタイム

29

～たんぽり荘での食事～



地元の食材を使った豪華なディナー

30

～2日目～



31

～蕎麦打ち体験～

地域の方によるご指導のもと、初めての蕎麦打ち



32



33

～参加者の感想～

■鳥取の自然を満喫できるツアーであり、特にリバートレッキングは、期待値を大きく上回る体験だった。

■佐治町には、世界に誇りうる豊かな自然が残っており、この自然を海外の方にもっと知ってもらいたい。

■移動に時間がかかる。

34

3 Aグループの提言

35

Aグループの提言

- 若者に対する鳥取市の魅力発信について
 - ・大学生向けツアーの実施
 - ・県外都市圏における若者会議関連団体の創設

- 主要観光施設の魅力アップについて
 - ・鳥取砂丘オリンピックの開催
 - ・主要観光施設に対する助成措置の実施

36

若者会議（Bグループ）

■メンバー名簿 ◎グループリーダー ○サブリーダー

◎竹竝 奈々江

○村田 浩一

石丸 浩高 垣屋 克吉 谷 祐基 塚田 志保子 余川 聖

■活動テーマ

中心市街地でのイベント企画による活性化について

■会議等開催実績

○グループ会議等

★ 平成24年度

6月30日、 7月13日、 7月27日、 8月11日、 9月 7日、
9月29日、10月26日、11月27日、12月 7日、 1月18日、
1月26日、 2月15日、 3月30日

★ 平成25年度

4月30日、 5月19日、 5月29日、 6月 5日、 6月12日、
7月 6日、 7月24日、 8月 7日、 8月25日、 9月30日、
10月 8日

○視察、イベント等

平成24年	10月	9日	中心市街地活性化協議会より聞き取り調査
平成25年	2月	16～17日	松江市青年会議のイベント視察・交流会開催
	9月	14～15日	福岡市の商店街視察
	10月	12日	まちなか職場体験を企画・開催

■提言内容（詳細別添）

- ①中心市街地ツアーの実施
- ②空き店舗の有効活用を
- ③商店街のニーズ調査
- ④来期への情報提供

鳥取市への提言書

テーマ

「中心市街地でのイベント企画による活性化」

■提言に至った経緯

Bグループでは、中心市街地をフィールドに1年目は中心市街地の現状調査、2年目はイベントの企画・運営などを行った。活動する中で、鳥取市中心市街地の空洞化や若者が中心市街地に来ないなどの問題を再認識した。

イベントでは、小学生を対象にし、「職場体験 in 本通り商店街～みんなでつなごう商店街の未来～」を企画・実施した。このイベントの趣旨は、地元商店街での職場体験を通じて、子ども達に地元の良さや社会の仕組みを知ってもらうことである。また、地域の賑わいの創出のきっかけづくりになればと思い実施した。

■提言内容

①中心市街地ツアーの実施

中心市街地に若者が来る機会は少ない。そのため、中心市街地や商店街には何もないとイメージを持った若者が多い。中心市街地でお店やスポットを紹介するツアーを行えば、知ってもらうきっかけになる。得に大学生や新入生を対象としたものにすれば、鳥取市のことを知ってもらえる。また、お店の利益に繋がることも考えられる。

②空き店舗の有効活用を

中心市街地では、空き店舗が目立つ。そこで、空き店舗の有効活用を提言する。空き店舗を長期間、貸出しするのではなく、短期間での貸出しにする。例えば、土日限定店舗や演奏としての場、パフォーマンスとしての場など。空き店舗の利用希望者は、申請を出し、予約ができれば利用可能となる。

③商店街のニーズ調査

生活スタイルが変化していく一方、商店街ではそれに応じた消費者調査が行われていない。商店街を一つの店舗と例えるなら、消費者のニーズ調査は必要になる。商店街に変わって市政が消費者のニーズ調査を行うことで、商店街もより経営をしやすくなるのではないだろうか。生活スタイルに応じた商店街が必要であると考えられる。調査対象は若者会議メンバーや大学生、周辺住民などとする。

テーマ

「若者会議の今後」

■提言に至った経緯

若者会議で2年間活動を行い、若者会議のあり方や今後のことについて考える機会があった。得に、Bグループではイベントの企画・実施に向けた調査や準備期間などで、壁にぶつかることや戸惑うことがあった。今後、若者会議の発展と継続を願い、次の提言をする。

■提言内容

④来期への情報提供

若者会議の活動の詳細を、来期に繋げていくことが重要だと考える。自分たちが経験したことを、来期に伝えるような仕組み作りが必要ではないだろうか。例えば、イベントを行う際、準備を始める時期や広報の方法など。また、イベントのノウハウに関してはこの人が強い、商店街の方と話すならこの人など様々ある。今期で得た情報を来期に繋げていくことで、若者会議がより大きなものになるのではないかと考える。

中心市街地での イベント企画による活性化

Bグループ

1

目次

■ 活動報告

- これまでの経緯
- 山口市商店街職場体験を例に
- 福岡市商店街視察
- 職場体験イベント

■ おわりに

2

これまでの経緯

- 鳥取市の活性化
- 何が活性化につながるかを討議
- ①鳥取駅周辺に広がる商店街の状況
 - シャッターが閉まっている・空き店舗が多い
 - 元気がない
 - 鳥取駅や市内に広がる商店街を活性化へ！！**
- ②各商店街がどのようなコンセプトをもっているかを調査
- ③市役所職員様へのヒアリング・街歩きの実施
- ④他地区での商店街の活性化成功事例の調査
 - ・商店街の活性化事例（がんばる商店街77選）
 - ・メンバーの地元商店街の状況

3

これまでの経緯

そこで・・・

Bグループではイベントの実施を計画

- 商店街を元気にしたい
- 普段、商店街を利用しない人達にも来てほしい
- 商店街のことを知ってもらいたい

職場体験イベントの
計画・実施

4

山口市商店街職場体験を例に

- ◎実施団体：
 - ・サークル・セブン
 - ・市内4大学合同ボランティアサークル
- ◎参加店舗：19店舗（各店舗3～4人受け入れ）
- ◎参加者：146人（市内小学生1年～6年生）



5

山口市商店街職場体験を例に

- ◎実施して
 - ・好評で現在までに4回開催（10分程で定員に）
 - ・親御さん、店舗の方々も協力的
 - ・問題点は、事務局がないこと...



6

福岡市視察

- 日付:2013年9月14日
- 場所:唐人町商店街
- 目的:メンバーの古くからなじみのある商店街の状況調査
 - 商店街として、今後のあり方について悩んでいる
 - 鳥取の商店街同様、集客に関して悩まれている状況



7

福岡市視察

- 日付:2013年9月15日
- 場所:川上商店街
- 目的:福岡市の中で大きく、また栄えている唐人町商店街と比較調査



8

福岡市視察

- まとめ
 - 鳥取の商店街と同様、集客に関して悩んでいる状況が分かった
 - 現地の商店街の現状を知り、今までの商店街の認識と違いがあり、それを改めることができた。
 - 今後の商店街がどうあるべきか、初心に戻って見つめ直すことができた。
 - 利用する立場でしかなかった商店街というものを今一度考え直すきっかけになった。

9

職場体験イベント

- 職場体験 in 本通り～みんなでつながろう商店街の未来～
 - 地元商店街での職場体験を通じて、子ども達に地元の良さや社会の仕組みを知ってもらおう。また、多様な年代の交流を通じて、地域の賑わいの創出のきっかけづくりにする。
- 開催場所：本通商店街
- 開催日：2013年9月12日
 - 本通り商店街の活性化イベント開催日

10

職場体験イベント

- 対象：小学生
 - － 地元の方々に若いうちから地元の良さ・歴史を知ってもらう
 - － 今後、鳥取市を担う子供たちに地元へ愛着を持ってもらう
- 参考：山口市商店街での職場体験

11

職場体験イベント

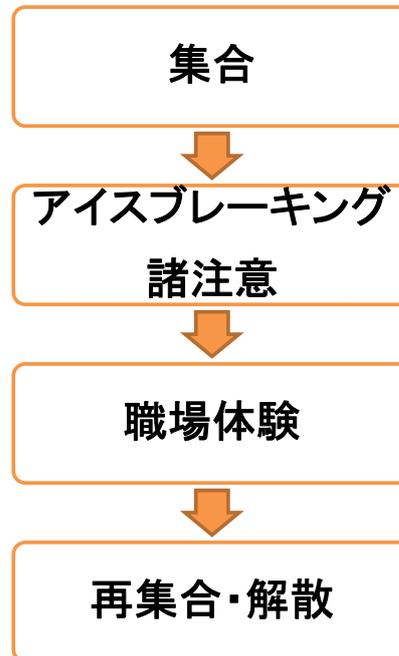
● 詳細

店舗名	店舗概要	体験内容	午前	午後	備考
創作きものと帯 京つづれ	着物	着物や帯の話 接客		3人	女子 対象
すぺーすComodo	親子の遊び場 カルチャー教室	乳幼児のお世話 イベント補助	男女 各2名	男女 各2名	5・6 年生
鳥取サンシャイン	クリーニング	受付・接客	3人		
ふじもとカバン店	物販	接客 販売の仕組みの話	3人		
レディースファッション 七つのれもん	服飾	接客		3人	

12

職場体験イベント

- 当日の流れ



13

職場体験イベント

店舗の方から説明を
受けています！！



赤ちゃんを抱っこ…
緊張するな～



14

職場体験イベント



楽しかった♪

今日はどうだった？



新聞社から取材を受けました！

15

おわりに

- 商店街でのイベントを行う難しさ
- “若者”が来る商店街にするためには・・・
 - 大学生を連れての中心市街地、商店街ツアー
 - 知ってもらうだけでも大きな違い！！
- 現在の商店街のスタイル
 - 生活スタイルの変化に応じて、柔軟な形になっていくべきなのでは？

16

若者会議（Cグループ）

■メンバー名簿 ◎グループリーダー ○サブリーダー

◎唐溪 悦子

○柳原 康之

岡村 優隆 川守田 英明 善行 佑介 田中 里志

■活動テーマ

若者中心のまちづくりについて

■会議等開催実績

○グループ会議等

★ 平成24年度

6月30日、 7月13日、 8月28日、 9月20日、 10月25日、
11月20日、 12月13日、 2月13日、 3月 7日

★ 平成25年度

4月10日、 5月 7日、 5月30日、 6月22日、 10月24日、
12月28日、 1月21日、 2月14日、 2月25日、 3月 6日、
3月 9日、

○視察、イベント等

平成25年 6月 22日

カフェ経営者へのアンケート調査実施

■提言内容（詳細別添）

- ①効果的な情報発信について
- ②駅前の空き店舗の解消
- ③駅周辺でのイベント開催

鳥取市への提言書

テーマ

「若者中心のまちづくり」

■提言に至った経緯

Cグループでは鳥取市が抱える課題“中心市街地の賑わいが薄れつつある現状”に着目し、若者目線で中心市街地の活性化に取り組むべきと考え、「若者中心のまちづくり」をテーマに決定し、活動をスタート致しました。

中心市街地の活性化を図る上で、若者の賑わいは必要不可欠であります。しかし、少子化が進む中、郊外への大型ショッピングモール等の出店が重なり、中心市街地の若者の賑わいは年々乏しくなっているのが現状です。

若者が中心市街地に集まる為には、気軽に集まり話ができる場が必要と考え、Cグループでは魅力的なまちづくりに向けて、カフェに着目しました。現在でも鳥取駅周辺には魅力的なカフェは点在していますが、どのような特色を持ったお店が何処にあるのか若者は把握出来ていません。

“お店を知らないから中心市街地に集まってこない”この現状を打破する為、このまちに点在する魅力的なカフェを効果的に発信するツールとしてカフェマップの作成に取り組みました。

■提言内容

①効果的な情報発信について

カフェマップを作るにあたりメンバー各自が知っているカフェをリストにまとめました。それは日々の生活の行動範囲内での情報でしたが、その時点で知らない店がたくさん出てきました。

そして、その情報を基に集計して、現地リサーチを含め、アンケートという形で各店の情報収集を行いました。その情報をまとめてカフェマップという紙媒体での成果物を作成しました。

その出来上がったマップから感じたことは、まだまだ知らない店はたくさんあること、バス停や駐車場の位置表示があっても料金がわからないことでした。より詳細な情報の掲載が必要だと感じました。さらなる情報を含んだマップやインターネットを使ったソーシャルメディア、スマートフォンのアプリを活用し、より立体的でリアルな中心市街地情報を発信・公開すべきということを今後検討して頂きたいと思います。

高校生からお年寄りまで世代ごとに活用できる情報発信の方法についても考えてみてはどうでしょうか。

② 駅前の空き店舗の解消

そもそも、なぜ駅前商店街の建物に空きテナントが増えてしまったのか、それには色々な理由があり、その解決策を講じていると思いますが、その兆しが見えないのが現状です。10年前は人々がたくさん歩いていたと聞きます。しかし現在、人通りが減少したのは経済的な理由だけではないと思います。市街地に空き店舗が増えているのは、中心市街地に人が集まらないからではないでしょうか。若者が何を求めているのか、どうしたら人が来るようになるのか、時代のニーズに合わせ店舗側が変わっていく必要もあると思います。すべてではなく一部分からでも良いと思います。

例えば、たこ焼き屋や雑貨屋、アパレル関係、エステ店など、歩いていてウィンドウショッピングが出来るような並びにするなど統一感を持たせた配置構想などを造ってみてはどうでしょうか。

まずは一般の若者からの意見や要望を集め、専門家などから具体的な提案を受け、市と店舗が一体となって取り組み、行きたいと思う街づくり構想を造るべきだと思います。

③ 駅周辺でのイベント開催

鳥取の駅前でされるイベントは単発的なイベントしか行われていない様な気がします。他地域、他県での経済効果を生む傾向として、来た人、集まった人をイベントの進行で動かそうとしないこと。境港の水木しげるロードや神戸のルミナリエは、来た人が自由に歩ける空間になっています。歩きながら楽しめる通り、そこで興味をもった雑貨屋、お土産屋に立ち寄り、疲れたらカフェに入る、撮影するなどのようにマナーさえ守れば、自由に行動できる様になっていることに気づきました。鳥取でも見て楽しい、ゆっくりと楽しめる3Dマッピングやイルミネーションなどの駅前計画を考えてみてはどうでしょうか。

学校の修学旅行や家族旅行のような規則的で決められた行動をするのではなくて、個々が自由に動ける状態で、人の五感を使って楽しませるイベントを考える事が出来たら賑わいは必ず出てくると思います。

鳥取市若者会議（第4期） Cグループ最終報告

～若者中心のまちづくりをめざして～

活動の経過

24年度	25年度
6月30日	4月10日
7月13日	5月7日
8月28日	5月30日
9月20日	6月22日
10月25日	10月24日
11月20日	12月28日
12月13日	1月21日
2月13日	2月14日
3月7日	2月25日
	3月6日
	3月9日

これまでの経過

- 若者中心の街づくりのためには・・・
 - ・市街地に若者が集まるようにしたい。
 - ・市内に若者が来る目的が無い。鳥大生なら湖山町内で十分。では鳥環生は？
 - ・鳥環生は市内のカフェをよく利用するが、若者の利用は少ない。
 - ・市内の魅力的なカフェを紹介し、県内県外からの客足を増やし、市内の活性化を目指す。

3

これまでの経過（続き）

- 若者が集まったり、観光客が落ち着けるようなコミュニティ機能のあるお店
 - カフェをテーマにした市街地の地図を作ろう！
 - ・調査範囲は駅前より10分圏内
 - ・店舗の特徴を捉え、特色のある地図にする

4

カフェマップの作成について

- 当初の案では・・・
各カフェの調査基準を作成。味や値段などを5段階評価で表す。調査した結果を、マップに反映させるつもりであった。
- 実際にやってみると・・・
店の評価を5段階評価で表すには味や値段など難しいところがあった。

5

カフェマップの作成について(続き)

- アンケートの作成へ
カフェを紹介するマップにするので、必ずしも評価まではいらない。このため、お店に協力してもらい、アンケートを作成、記入を依頼した。
- アンケートには、マップに記載したら良いと思った項目を反映

6

アンケートの内容

● 作成したアンケートの内容

- ・店長おすすめの一品と値段を教えてください。
- ・お店のこだわりを教えてください。
- ・ホットコーヒー単品の値段を教えてください。
- ・お店のPRがあればお願いします。
- ・駐車場はありますか・
ないと回答した方にお聞きします。
駐車場対策として何かしておられますか。
- ・店内は喫煙ですか？禁煙ですか？
- ・小学生以下の乳幼児を含む児童に対する対応を何か行っていますか？
- ・開店、閉店時間を教えてください。
- ・定休日を教えてください。
- ・アルコールは提供されていますか？
- ・座席はいくつ用意しておられますか？

7

完成したマップ

● アンケートを実施。

回収した結果をまとめてマップを作成しました。

協力いただいた店舗

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ①patisserie & cafe drop | ⑥カフェ・レッシュ・コパン |
| ②cafe SOURCE | ⑦チャップリン喫茶 |
| ③カフェ・アメリ | ⑧ティータイム |
| ④森のベーグル喫茶・森の生活者 | ⑨ルコシヨンドールアターブル |
| ⑤MIRAI restaurant&cafe | ⑩TAO CAFE タオカフェ |

8

カフェマップ完成！



実際に置いてみた



↑まちパルとっとり

←市役所本庁舎
1F 総合窓口

まとめ(提案)

- 効果的な情報発信
→よりリアルな市街地情報の発信を！
- 駅前空き店舗の解消
→市と店舗で一体的な取り組みを！
- 駅周辺でのイベント開催
→自由度の高いイベントの開催を！

11

今回の活動の反省点

- カフェマップでの反省点
全部の店舗を調査できなかった
アンケートの協力を取り付けられなかった
- Cグループの反省点
若者会議の知名度がまだまだ低いと感じた
定期的な活動ができなかった

12